責卯記

乾

リ 5
5238
1

門 ヘ
號 1591
卷 1

内閣文庫

り5
5238
1-2

嘉永紀元戊申四月新鐫

元陵御記

安中板倉氏藏板

元陵御記 甘雨亭

昭 ウ5
號 5238
巻 1

元陵

御記

左近衛權少將藤原朝臣宗紀謹書

元陵御記序

我中葉

王室之衰替。昉于藤氏專權。平氏尤而效之。源氏攘而有之。北条氏以陪臣執國命。而有承久之亂。建武中興。僅得之。

而復失之。雖天運之使然。亦不可謂非人事也。自時厥後。海內擾亂。皇統不絕如線。陵夷迄於弘治之季。即位之禮。亦不能舉。何其甚也。及我

藝祖撥亂反正。興隆王室。再覩天日。海內乂安。二百餘年于茲矣。明哲繼踵。世守丕訓。雖武夫悍卒。亦知萬乘之尊。

藝祖翼戴之德。可謂至矣。頃

者近江守源成。示
靈元上皇山莊 御記二卷。勝明
盟嗽捧讀。手不能釋。蓋山莊
之設。出于 幕府恭順之意。
特供
後水尾上皇 宸遊者。延及

靈元上皇。春秋 臨幸。觀花賞月。
上怡 聖情。下慰民望。實太
平之盛事。兵。恭惟
上皇以
後水尾帝第十二子。 兄弟相及。
承

明正
後光明
後西之統。臨御二十餘年。孝
友惻怛。出於天性。而雅尚
博洽。通于國風。宜乎。宸藻
煥乎與日月同光也。嘗嘉石

川四之高尚。幸其書堂。覩
其遺物。且賜御製歌以寵
之。非尋常世主之所及也。今
以成之學識。御記下恭簽
十數事。使讀者倍感歎不能
止也。夫

後水尾帝近代聖主也。其仁智明達。天下所共傳稱。諸皇子多賢而不壽。嫡長子

後光明帝天資英特。夙好儒學。知治古之道。在聖賢之書。程朱實學之可信。而佛教之為無用。性素惡雷。聞謝上蔡須從性偏所難克。〻將去之語。一日迅雷。靜坐御簾外。龍顏不為變。亦可以見好學之一端也。且

帝之於德大寺藤公。猶唐太宗之

於魏鄭公。所謂有太宗納諫之君。則有魏徵敢諫之臣者信哉。

帝嘗曰。我邦皇威之衰。因國歌之盛。與源語之行而已。蓋慨其流弊淫靡。敗俗廢武也。其旨微矣。設使帝當承久建武之際。其神算果何如也。而上皇則仁厚謙挹。雍容垂拱。有太平天子之風。雖禀受之或異。皆可不謂百代之令主

哉。嗚呼。
藝祖之懿訓。至矣。盡矣。後人
或忽之。則失　幕府奕葉恭
順之意。而為天下萬世之大
僇也必矣。於是。刻　御記二
卷。謹叙鄙言於首。庶幾以顯

揚　聖德之萬一也。
嘉永紀元三月既望
伊豫守從五位下源朝臣勝明謹撰

元陵御記卷之上目録

享保六年九月廿七日　修學院林丘寺宮
同　七年三月十三日　修學院山莊　一乘寺　竹内本防
同　年九月九日　同
同　八年四月六日　同鴨社　竹内本防　端山茶屋　林丘寺
同　年九月七日　同上御靈　一乘寺
同　九年八月廿七日　同一乘寺　竹内　同端山　林丘寺茶屋
同　年十月七日　同鴨
同　十年四月廿六日　同鴨　高野川
同　年九月十六日　同　吉田春日社　神樂岡八神殿　白川　照高院　熊野三所權現　淨土寺

同　年十月十八日
同　十一年四月廿六日
同　年十一月二日
同　十二年九月九日
同　年十月二日
同　十三年二月十二日
同　年四月十八日　謹按。御記作十一日。未知孰是。

同
同　鴨　高野川
同
同
同
同下御霊　白川
同　高野川

京都帝國大學圖書

元陵御記卷之上

享保六年

もなかのうへあそうの法華院夢の院（宮イ）にまゐりつきてをはりぬ
さくらもさかりなるあまのうらぬらの秋の西光寺法水尾院あるとし
はるさきてそこらなるくるをまきしくみなかと
しらんさくらのちりかてに感思あるかうさまにてを
めてありしつる
ゆえなくうらみしくるるうちに御のあるを面白いつるまゝ
おりて徒のみちもやすらもれ法堂まゐりせしに白の御の扶に
むらひつけるに奇の法のうつるに

つくづくにまもせの波よふみ見者てきみちゝ
せんとあるこしの山花代くの離宮まわりをきてさせ
給ひしうしろもなのしるきるてはやまてありいとくら
ゝ
ちりぬるとまてちるとけさを春れ波つきてうん秋のやまゝち
そのうゝなるてもつるあるうりかぬるとふあくるさろうい
付まの夕紅葉ゝ宮ぬの巻固まてを奥ちゝもをゝ
さいてゝらゝ西枕町をきてゝもゆゝわゝ家ゝにあつゝを未
てあるんちるゝよのいくゝやいふ波をゝゝゆゝしゝれゝいゝ
うん舟をゝらゝしゝうゝなゝゝうゝゝのひゝるゝんなゝゝて為

波のゝしゝをゝ宮倉ゝゝゝ

かたに

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

遠のくれやすきうくるくるくる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やまにまくさをかりやまもふかきを
山路よりてまくさかりやすかりけり
いまこそはりしこうしかの
牧つてをしはなつてもあるいやとを
まいるまてしはなつくまもつん
のうはをもまうてきうしかりけ
るかまつて
ちりをうらやむ
ちりをうらやむ
こうしかはなつてまつをまつ
こうしかはなつにはかりて

ゆきのうへ
うすゆきのうへにうすゆきのつもりけり
うすゆきのうへにうすゆきのつもりけり
いそのかみふるのやしろのかみさびて
ふるのやしろのかみさびて
ふるのやしろのかみさびて
ふるのやしろのかみさびて
月まちぬ
月まちぬ
月まちぬ

部様方之六位なりしかとも殿上人なりしてをのく
さうきをとゝのふ
うゑひろきゆへの母をらさうつきてうゑてるをひみをんつゝ
かゝて支の対をうゑてつき侍
同年
御母たゝ之六月御寺院の山ゑよりあくるを俗母ひいを見て
さうひ町をひうまむひうまを寺町まいるみるの俗あはをいさこう
南よさうてゝ此童のち我ゆくゝをのうちまいるかれ
くゆのまゝ様のかはらさとちうゝてうちをくうれみをちくく
其ををとゝをくゝ後のうちにさうゝ祈念して法樂せしむ弘二年

ゆうをくゝかゆをきうゆくいうゝ此ゆをつうきまつはるこうゆほをを
れうゝをゝゆくなをうゝををゝ後をゝはをせぬうちを神ををゝをゝ
さをを寺をちをきゝゝゆをゝ賀茂遊ゝをつゝみのゝをなゝみをゝに
いをゝ野ゝゆゝ後をまいるゆをゝをゝをゝ遊をゆをくゝを井を
いるゝかをゝう神をゝゝ法浄なをゝをゝをゝなをゝをゝゆゝ
うををうをうきあををゝをゝをゝゝかをゝ祈をゝて御殿をゝをあゝひををき
かをゝて神おゝをゝまいる法社をゝをゝ少社をゝをゝゝ後のをゝま
ゝゝのゝうをゝる宮を社かゝゝうをゝちゝのをゝまゝをゝあゝを法梅な
をゝをゝ祈をゝひゝ浄云をゝぬきゝを中ふゝをきゝかゝをゝ体
かゝ仕をのゝり稜かゝをいゝあをゝんゝ神司を階ををゝけゝ

[illegible]

侍鴨社神前。奉法楽和歌。

[illegible]

[illegible]

花

[illegible]

新公

[illegible]

五月雨

[illegible]

納涼

[illegible]

秋野

[illegible]

月

[illegible]

紅葉

玉坂の紅葉の色のうつろふを
千年
よそよりきくはのちのうき枝をてらすうつしの夏やまちつる

水

吟ずるうとれの水さむき秋の
雪
ふりそそぐ雪のうつるぬる
神おもをちりそそぐ
夜ものの秋地をそ神さひ
まち立なふ時の夜のやうろ

かしこみてむふうちうをつうほうこうろい神をしらん
をたかしつてみてうかしこえめうまき春のいらふ
還向を経多の神ををるとく
うちうをは楊うをは小川をすをうをたるくをきをくして
山神をうをを郎をまれ天寺の山をあくをうあのををる
はをやを緑やいの屯の夏の山のかしをを中の神を徒山の
かををてきををしもの春の山
山ををはをたをく緑の神のをををををををををう
ををりををてきい
一山径過了。亦入他山林。鳥啄残去。山蹊行変吟。

なほ[illegible]さいてれつきぬ天邦山の花盛よ[illegible]
すとゝのつきて此度たゝ[illegible]
たゝりれ山道をあゆみて林丘寺に[illegible]る鶴山とゝふ
まの山花ゝ[illegible]ゝ都めうゝ成えやる四条ちゝひる義をむ
角ゝもゝなゝまゝゝゝゝゝ[illegible]
いりゝゝよ落山の西れゝゝゝ[illegible]都をゝゝゝゝみ数
ゝのゝゝに稀頃の塔ゝゝ[illegible]
ゝゝゝをいい住ゝゝゝ[illegible]
まゝゝる道のなゝゝゝ林丘寺よりゝる例の祥尼公ゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

この山ぶかき八重の海をわたりあるをふかく山とひおてい
月くまなくくんのとなりの澄のをとをきくとてうらむ
ゆ月観ずるあるくふかくさうあるて示ようるみちよ
うるるのかなすもしの静きる四竜の中ふかくをきく
庭なるにたちちをくきくまい似てくれあるるうる住家よ
おのつうるる夢をきくてをもつうるるかすしるく成ると
てさくおは思い
山しのうけうくしるる空よふりきくけどすもりやおく
かくなるて遠ずをくる夕の時をうるを示よを
つきぬ

同九年

五月よりて名よおいををさうをうりて
仰をてうしおを花寺月観のおなを庭よ数多あるうれて
為院の法付うををれいれいをいるくあはきにいるろ
うあるを十七八年ものあるをうさいをのうちいもなくくるし
るもとおりふみ二月二十一日大仏ようふを恵の大火ある年ぬおひうを
大仏さくいくくをのこ帝まるくるるるるくのをなれを
大火大風をくれくを大変なくくをになむをたくく天陽
宮をおかうあくい社をとくやをぬ仏寺をくれを新寺を
をくをくをかをおるくやをぬををあるををやくれ十よ七八をやけぬ

とゝふやゝ[イヤヤ]ゆくるゝものゝいくせんかいふをきゝしとゝふ
かれたりしのうさをみまゝ日あゝをゝる[ヲヲル]ぎ[イキ]れかたやこの
なゝ[ナナ]ゝしてすきゆくかたにやゝ[ヤヤ]ゝ[ヤヤ]ゝ[ヤヤ]

例の夢告をうけたまはりてゆくまにまにたちてなる山
とやきりのうちとりてやとことのあやとこころ祈を
ゆくてるゆくをみくやけハやすちくかりてうそふ光をあく旁
ふかきまつ井丘寺をさしていくる夢分虎の宮いつとれてく
服息をふたてて渇ーかふてー九十ヲなかさきつれといきちかを
ゆくきれてるとゆ寺の夢をるれら絵ようきれのくてふ
てあるくゆ寺の絵よ光生せーもるうちかをられかやを
ちく常に絵ーゆをいまい保寺をるふをーかをえん
ふくくあるて門ふの夢ーあやいくまつ夢をいをちろ
ゆる絵をまれてをまれくをすをく窮遂ー

いをう巣をやれとの夢明虎宮をくれとあかをとを
まをかいあるてやをく歩ふまの山のをうこーをまくけ
をにあねくいてくあをにをうとてのある去年の秋より歩ろ
いをとをといつれをさるあかいて山のいをきをいれる淀川ね
をくをあうじねをにあるて岩倉宮和虎の絵ふあるをく
やをちるる観寺絵堂かをふをうをうをうをうを山を
くをうをくをくをくをくをくをくをくをくをくをくをく
れるをきぬ人やをうちるれを牡くをーやをしれくを
るをうをるいつをぬー
まをるをむれをまをとをこのれをとをみををくをちーれを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前大僧正尭孫　六條右中納言有雅　理性院前大僧正尭觀　日蓮院

前大僧正尭孫　六條右中納言有雅　理性院前大僧正尭觀　日蓮院

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そこに盍虎あり〳〵世の法さまゝてあそこ〳〵ひつゝ
今しきあくしゝて法結つきゝやゝ作らせ〳〵に一部を立
度よゝやさむとおもひてけん髪〳〵ふきつゝ
まゝ〳〵法体是あるやのひをうこゝまうけゝく
筆あちこみつゝそこ〳〵ひとに美さゝ山茶
まりおつゝ盍虎をこゝよゝ〳〵ふらはくらなよれよう宮
まあやゝくめなるこにかむ
こゝ家みゝ中にゝこゝくこゝ系をかゝせる美こゝあゝ嫁こ
うこゝこゝうゝやみ美こゝのりてこゝりゝみこゝあゝ
りゝきすりこゝゆこゝふこゝ出こゝ作こ

りゝ咲あきあくゝりゝきのふよう時こうこゝこゝ一高のくゝ
かゝ星八こゝなくきうゝくこゝ
いこゝよゝ雪ゝまりこゝ
かこゝるかこゝにゝくゝ門を玉咲を切八田面のゝ本のゝこゝを
ゝゝゝ時〳〵
雪こゝ雪ゝこゝ雪こゝこゝあこゝ
ゝこゝ田の面ゝこゝこゝ
ゝこゝゝこゝ仕ゝけこゝこゝこゝゝ
ゝこゝの社なり
こゝ行かこゝのこゝゝ彩ゝこゝこゝこゝこゝ
ゝこゝかこゝこゝこゝ社改ゝ多ゝいこゝ祈念の後例の如般

きく弟よやうれとのくひさうつきかなとる物をあはぶ方納てる石
山寺寄れよりほとゝ件をれとりうくれとなを弟よくひさうつ
つきとるこれをくくれほくに鈴をもかやくくいてくゝ空のくく
くをもさくくる
やくくくる神の老木とかやくと鈴る世ゝ松ぬか歳のくくくく
世をくうゝいちゐの本あくとくくゝをきてくくをにくゝ
なむくかやをくくる本ゝくくにくる世のつくちゝくくゝ
くくて本にくくくくくる少き枝をくくてくゝくくくの本の
弟をたるのなく花にくれくくのやくくくくゝ花をく
て枝をつきくをきくくにくくをまくく泉にくよくくれくくく

なれをにくれ上をくくくくくのくる物をくくみ
くくれをくを鈴をを時くくるくくきくゝ鈴をにくくの水りあくを
山のふくくなくくくくに
時る日に世ハくくくくを鈴にの水れくくくくくるやまくくて
いくくを申くれくにきくくれくくゝ件をあくくくなくくを
くくをれをくくくくれ山をくくくくくくくくくくくくるまるや
くくて時れくて日の鈴をくくをくくくくくくくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

北はあくうてまつ沈の西をめくる道のもとり沈の汀まあるいとる
ちりぬれも岩系をそふつ〻いつる山のとみちをこむとてゆ
ゆつゝびぜーとうあるとそこよいうてこれもやるよもたく
ゝゝこ流なきとみちをきてゆるこーふまれ
とみちをそれつゝてたうくいちーぬさきなり流へなく
おとはのれとせんとなり
まとうなるやとれ系をそよ伝なうちとみーあきれ伏なー
よ伝まちとこつる千つをまるーまだちうとみちれのうちをふき
ちーうぬまつをちとみよとそまむあ沈をふつ〻侍
さとさーにまうむとーれ秋うとれ系ーまつをとそよ山ひん

うくいひくまつ三社の山まのわるこ系の坂く岩体くひくなとーとと神
おままつりいさうう祈念も
老の坂のわりてとふれ祈をく祈うひちみくよとつれみやーる
信坂をおうく逆より海寿なる岩をもうひなる岩根
みをとれうひみくうこれいみとり沈の暗二つひ磐を三つ
ひとあるをーをとーをとくくるなとうれあ
おくつくくあとる泥のをーうれいめつくーとくくうとうれ
とれより降雲新まいうぬれ立てせまくーとりもくさう
まとめてはとうとーれとれてまとれざうとまへとあつく
ーくうまとれをめて

新迫てなかれとみちとてそのふれなきはなさうとせたれ
紗の生る陰とをしぬとみちをもはなさうとせたれ
うれ敷をふてしめつるとみちをにこの後のいろを除うをぬる
それをうれ出れかたにをとき
をき女房とのあとにひらふをとて
とみちををひらふ乙女よこ後あふそそにこきまくいつうせとせむ
たくを神のちををく山のりみちたいをまをれをみやきまをん
ちをてこうふいたくふかをちををを

きゝやゝ水ハ[illegible]ちてさゝ[illegible]やゝ[illegible]ふまゝ水ハ[illegible]ちてゝ[illegible]あれ
[illegible]

夕[illegible]けいろめる淺の[illegible]ゝ水ぬ[illegible]ゝ[illegible]
まゝ[illegible]ぬ[illegible]に[illegible]身親[illegible]丘寺
[illegible]老[illegible]花[illegible]に[illegible]ぬ[illegible]
よゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]寺[illegible]ふ[illegible]
ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]身親[illegible]寺[illegible]
る
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]

[illegible]代[illegible]ゝ[illegible]我[illegible]山[illegible]
女[illegible]の[illegible]
[illegible]千[illegible]
くし
[illegible]千代の[illegible]我を待[illegible]
大[illegible]橋右中辨[illegible]詩を[illegible]

謹奉陪從
太上法皇幸于修學院。謾賦一絶。

霜染寺邊紅樹楓。君王遊豫到旌宮。天風亦欲裝輦路。滿地吹鋪錦繡紅。

為範上

奉供

上皇幸修学院。賞楓葉應製。

楓葉飽霜景色寒。幸從鳳駕歷林巒。行宮錦帳供帷幕。孰若春山花日看。

光潔上

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

案内[illegible]

[illegible]

つ[illegible]

しかんやうを[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとまこむとしりてとに侍りて君をこそもとめてみちの系

うつし

みるへのこゑをたちてゆきぬるかとをとをとをとを

武者小路三位

侍りまつらんやとまきてあるまるのとみちも

うつし

きのふさへきくなれ生るれ葉ちちくあるむいてとをふ

宰相中将

うるふのとみちをさてちるふまるまもの秋の侍りまつし

りふるかの八古今集七夕の終に八月のりとあるを引云あり

うくれりふるといまもむしのあきのふをそやいくる成ありひてとる

よしをやすうつし

りみちをまれまいちむあき成いつしやうてしくあるとやまつ

いつしとのみ待そるつきあるもれ白のそもそこくなむこの

つて武者小路おちの卿そ久しくお号もそお敦かきの四りみれ山

花ふせさのしをいひつるそて花をよみてまるつきよ成仰せ

しくきつるそうてうつし

まそうけれ　かけあるふや君ちしるれのやそれりみちそ

うしきのふのそなるむも念あるてふるき例もあれい五月の色あ

をそうそよみくつろい法

まはらけとありしはいつらくくしむこれ山なくぬやまのとみちを
うゑなくてあうにあくるやいくまひとふるとみちをやくとれを
いくくれとうたちれをきみうくし例くてふきをつるとみちを
うれあきはふくひりてつくし山のちめをこうれを のりみちをはくし
せをやなくくくれをぬあちをのくくろいかをむくし山のとみちを
うくうをやてみくまくし

寒陰上

應御製。又歌五首。

うきうなくあくをくれをまりきをいつくれをとみちかくれを
おををまるあきれちをはのみうをくるをふるめくみをふくかをき
陰代なくくあくし例ををきみちをれ君くむれをちをちをもん

いくををれはをきんをあきれりみちれををくあくぬまをし
千代うけくをもむくをみをれやまををつくふるあきにあひををしる
うれををみをくをひくくくくし吟して
かをくかをきあきれををみをちをあやくしいをををあるぬまをちれををう
かやいくくやをれをくをををつをくをををくくををまをあま
ををふをををれををれををくくを女房のみれ中まをうををくをををみ
をををやれるまをむ

同十年

をくはををの花をくむをををを卯月のををを二を例の山を花をを中をまを
をかを成をまくををれをの社のをををををををくをををくをを拜殿ふ

のかりてこゝにあそぶ
まいるとのゝところをあゆみゆくとてひなむしもめあれ
ひろさせその行りて牡丹ちなめつゝ
に今のこゝやうゝあちこちゝとゝゝ
掛門のこゝもまくりうゝもゝまよあいぶきなかゝてふ
八幡殿のかりて両度再あきかゝとよて例のうゝひとり
まちかひとうゝありてこゝ
四町ゝゝとやあゝむゝあ母屋ゝゝ
しゝ水登いさきゝゝゝ法をあゝぬやゝ
ゝゝゝいゝゝるあゝゝゝのみゝゝゝる水のゝゝゝゝむ

ゝゝゝ道のかゝゝて行りゝて秋
まゝゝゝゝむゝ沢のゝゝゝゝけ道ゆゝゝゝきゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
させゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そもそもこの山もとの一丁余既の序附永正の年間勝業とつくる宗家
の沙門寺をこの山に建立して所号法とよびゆえんの事明
るの僧を分りてこれを宮をつくりきたりみて堂もあ也
きたりいまのきたりの不動をうつせるなりしこれを成
おとひいそ
なるやんそしこ世もの人ふこのやまのうちぬうちなを絵きん
寿尽額に焼炊のちもくちてつきぬるい変のもの人
まとなりそんち
同年
七月の中旬に立る山の人例の如くゆく荒神のまんとうに

よいそこのくひちを去田道をつけちなゆくかりいて一丁ばみ出
ちくありしとふ杉不ちまあり大きなる木とはしとやちとある
あちこにちくれる大木ふてちとある法ちきを八根の廻りを
天竺あまりのうちふ木ちちの枝のさまを空をちくしくまの天竺の
ちちるみ木ちをるる杉のあ尽くしのうちを木なりを世ちい
いくやちをおちを法ちちひちをきを中ちとあるつきをやとしくを慈
仁の乱後なをなみ木ちをを一生なをちをもちを慈仁乃
ちちまちちをあちくり大寺ちくちをちをにあり
寺の兵火ちとしく数る年ををちとやとちをの法成寺と
いる大寺なをとを近代ありをうちをくちくちをちつを安定ちな

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

遠[illegible]

[illegible]

津[illegible]を奏せ[illegible]土地の天くうとゝ[illegible]神楽

岡[illegible]

[illegible]岡[illegible]名を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひくうにして二町をうとのりめりて山のくきをとりてくる熊野三
社(ハイ)不絶をありてをくとこの事数いとをとり語りいとへのくきに咲(ハイ)咲
とあり白き石花ををしはくさある中より流れ出る流あり拾ふ
うきくまりを(カイ)参詣をうこの川をいとへ古仁公の山花なり
中勢にて名をうきくしたみの女房とを山花をまうして杉の女房
のをくしにくまりて杉をうの(ハイ)はいくみをりりをとりをる
法輝寺をいてををいとをいて
みをりしをむかしをいとをうををうをうをう

きりとうるはしの滝とて高雅のまへをまてとおりひらきしる玄宝の山
のうへにたちきりあるとまもあり山のふもとを城ヶあり一村を宮殿の
まへにうつくしくふかくしていまもをいてんとて件の山めぐりとて
ほとりを門をつくり山岳をやきうつくしくふひつのなかをまたぬ
觀ヶとかくして海中彩ヶのりて此道をくゆかんとおもふ
いてあひうつくしくふりたる舟よりまつて第寺をめざくれくとさ
をかなせかれをいまこそうくれくにかむあり海やうくふもと
うまかたひくのちまく赤山をゆくこくいつくの山と草をなし
ようてんこうまをくなくてうちをくりをかりをとる
うくふりをいまをいつくしくうつくせのあくをなりぬるやまをうう

池の河をまくしくる例のかくやをのくやをくひて長月観をうる
道をうくをひつくし
まうゆうあやまくやをくをうくいくうなるやくしめあをくうせむ
くくを炊のちあをくるうをのを山岳ををやくいくふをひる
くくまをを川道なりをつくをくくをくくをくくをくるくろ
彩をくをうをつをぬ
くくをくをくを

しとゝなりすゝきとり仰れきてうの秋をすうるくさなく我〻あ
りきてきのふ〻〻のこゝ〻をてる杉茸のいとゝあををたゝ〻て
〻〻〻〻なむをめ〻詩つくりくるまみまちかなくまく真よりく
てをにあつ〻

九月十七日。奉拜明詔。始到院学院賦詩。

餘香鸞輅軌黃菊羽觴傳。臺樹風雲古。濱村松竹連。倚欄題葉下
洞掬瓶泉。偏惜秋陽短。爽氣拂暮烟。　宜通上

鳳輦陪幸後。秋色正濃時。千尺泉聲咽。四圍風氣奇。傍松同採菌。向竹
謾題詩。賜宴誰辭醉。幾探菊酒巵。　為範上

藤吾中納言

詩をとゝ〻〻〻〻

神ゝ七月なのかまき例の山巻ゝとみちゝんゝてゆくゝゝ
き上田の侍医ゝ国ゝゝゝ

[illegible]

侍二御供ニ参前述懷

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

林丘寺宮

[illegible]

一条院宮

[illegible]

[illegible]侍　愚詠

[illegible]

賦山皆紅葉

詩（便用紅字）

秋後帝来古洞中。台峯西麓野村東。満山一様霜紅樹。蜀錦千株織（被ヵ）

得紅。

文人

一位大納言公通

岩倉前大納言実具

大蔵卿為紀

清二位宣通

風早三位実稙

梅右中辯光潔

端仁書院ふ一部大概欠字或欠字多〻日或陪大概ヵ侍陪学院殿宮同

賦

勘解由小路前大納言詔光

菅中納言長義

愛宕前宰相通晴

押小路三位実岑

櫻井三位氏敦

詠山皆紅葉

和歌

歌人

[illegible]

了宗法師　尊昭

按察使俊清

武者小路前大納言実俊

六條前中納言有藤

冷泉中納言為久

前源宰相通茂

前源大納言通躬

東園前大納言基長

中山前大納言兼親

三條中納言公福

花山前中納言為信

石山前宰相師香

六角三位益通

武者小路三位公野

烏丸前大納言（依所労不参不成陳述）

端仁法親

侍陪学院離宮詠　沙門尊昭

（或説、或侍大御所御ノ）冬日陪陪学院離宮同詠（名字大字）

山皆紅葉（使用字）

源三位惟永

四條中將隆孝

正二位藤原韶光

山光尚訝晚霞澄。池影翻驚夕日紅。喜見仙槎駐驛。天園（作曲）枫錦仙帷宮。

台峰奏色擁離宮。楓樹松杉綠映紅。想得山灵開錦帳。宸遊歲々祝無窮。

正二位源兼具

千里雲晴図画中。侍臣從輦侍離宮。前溪後嶺楓如錦。日射赤山々更紅。

權中納言菅原長義

霜染滿山千樹楓。浴恩清宴侍離宮。醉持一朶帰家去。栄比昔人畫錦紅。

大藏卿菅原為範

正二位源通晴

鸞輿靜轉向離宮。鶴駕行々入邃峒。此日山色如有意。爹峯楓葉一時紅。

從二位清原宣通

金堦此日賞丹楓。青女天梯織得紅。聽中風光如有待。玉欄映對滿山紅。

正三位藤原實岑

山北山下又山中。葉々株々染一同。今日侍臣齊衣錦。於来恩露洞添紅。

從三位藤原實積

仙路玉壺穿錦楓。駐旌雅賜宴幔城中。滿山芋樹兼恩露。万壑千峰一

楊紅。

滿山素葉照瓊宮。扈蹕辱從天仗中。雨露殊添陰幸地。霞添光彩傲鮮紅。

従三位藤原氏敦

侍宴共賞雲後枫。添成東嶺映離宮。枝々爛熳最難畫。須借彩毫与錦紅。

権右中辨藤原光潔

題者　冷泉中納言

奉行　大藏卿

山皆紅葉

[illegible]

正二位源通躬

[illegible]

拾遺俊成卿

正二位藤原基長

正二位藤原定信

従二位源兼熙

[illegible]

侍中納言源為久

[illegible]

侍中納言源公福

[illegible]

正二位源有孫

[illegible]

従二位源師香

[illegible]

従二位源通茂

[illegible]

正三位源益通

[illegible]

正三位源惟永

[illegible]

従三位源公野

[illegible]

[illegible]　　冷泉中納言

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六隅中將

畠原少將

風早三位

同

東京おやめて

佛法僧句

犯教

[illegible]

山[illegible]

[illegible]ふ山[illegible]

[illegible]

轆轤[illegible]

中[illegible]武[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陳武志[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山新樹　　宗信

[illegible]

梅和花　　公福

[illegible]

春郭公　　雅雪

せとゝいまゝとのふかゝ[illegible]

遠郭公　　有起

[illegible]

近郭公　　光栄

[illegible]

夕涼　　為信

[illegible]

河蛍　　長義

[illegible]

野蛍　　為久

[illegible]

蛍遊　　俊清

[illegible]

樹陰蛍　　宗志

[illegible]

菱喫恋　　通菱

成るまでもこうぬる衣中なつかしき情ちうに

菱船恋　　ら友

いつかはかけくわりひし我中はあひてふ名をせるとしらむ

菱恨恋　　公野

あくまでくく水鏡の精ゆえうぬ板ちうもるまでぬ

菱松菱　　宗参

ちくしとうく松なうあくまでもあよ拾のゆしん

菱眺望　　愚泉

ゆんやるとなつちくとれひちいろとなつめよまちちてなくく

四花これ山茶を経堂あくちくちくち

冬年

うけ杖をうけうつを打とゝひ立て伏見の宮のろうゝひ立てゝ
ぬまとりのはちをゝとにまきゝ入れ打ケ中ゝ
をあつて母をもゝまよろつ神をあるぬ事有る様
をみちさかりのまなかりやうしとゝ舟したゝにけ中の二日
ゝふゝ例の山茶よりゆゝ物をろ組きうふゝ立ゝ
ゝをろうすをゝゆゝにをろる谷のゝをうに絶まゝをゝて山ゝ
なをゝまふゝをゝまゝゝふゝのゝをひきをゝるゝやゝにゝめ
うゝをゝゝゝうをゝゝをゝゝゝ光漆新たゝの物よ
ありて猪句の上の二句ハ打とゝひようつゝゆゝ三四句ゝまつゝうゝゝぬ

ゝ成まゝをせをゝ問きけゝ勇をゝく真ある絶なゝいゝゝ
まをつゝむゝ生ゝとひてをゝゝあゝてゝゝゝ打とゝひゝるゝゝとゝひゝき
うゝをゝなゝゝゝてゆゝ四月の山ゝゝゝ深つゝむゝゆゝゝゝゝゝ
むゝゝゝゝ小金の山のゝゝゝまゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

なる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

赤山のやしろまいりして[illegible]

汀を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

錦穿千樹霧。袂拂百般素。

髣髴不見景。晴嵐行路長。

和韻　光潔朝臣

雲霽朝風靜。池水色自素。　愚他

霜枫併醉處。向夕興彌長。　宮岑卿

一乘院宮

同十二年

彩とりてくちなしぬめりたちそめ野さきやたちそめつるつきのうち

南殿松梅月　　為信卿

ゝとしありてとをるゝいくゝ

ふゝゝゝ

神ヶ丹の二日芳の花ふりつゝひのあをとふとてゆくちのめのかゝに
門をとつちゝ迄をゆくかあてゝ日のつゝさけしぎらあけて
いまいちへてゝあるゝとゝゆくに日ちつきくちさるわくよ大ちえの
いつゝきちちゝちゝゆちゝつゝるゝゝわくゝゝゝ山のあだいゝゝち
ちゝゝゝとゝまいゝゝゝゝにる山なゝゝちちゝゝ日の紅ゝゆゝをサあ
ゆゝ狩ゆりくちんとちゝるゝゝゝゝあきゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ紅ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
みゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

東嶺未霽日。西山影早麗。南畴絶路遠。北麓到何遲。

和歌せしかど侍醫のよめるかの年一作つれなき事なりけり

離宮新霽後。紅葉似花繁。御宴悠々夷。眞心春日遲。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

林丘寺のゆきゝ雪明院の宮の高野をこゆ給ふ

渴しのふるこゝろにたゝてこゝにいまゝてきたるをたゝひあふ

[illegible]

[illegible]

同十六年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

此歌沼
脱作者。

[illegible]つけ侍りぬ

中院内府

[illegible]

三条大納言

[illegible]

高丸大納言

[illegible]

久世右中納言

[illegible]

茂谷右中納言

[illegible]

武者小路三位

[illegible]

異泳

[illegible]

久世右中納言

[illegible]

唐名右中納言

[illegible]

同年

卯月十五日人々と伴なひて陸奥国ゆかりの下野国に行て
ちかくして山端村を過て松ヶ崎山と経波山とをあひ
ゆく川のほとりにやすらふをもつひにたちてたつ
こがしてをる千石岩といふを人々をしふるに夫すらも
うるさきなる岩とんあまた山のもとにあるをあつしくもあ
なり

ちりなくゆきてうつたみやすを岩をあらいはとりはよ

かやをこしみやすとあるぬをいかにしてかのあるまて
ゆきてみるとの道ようには厳山双輪塔をみる遠目うひとをは
ふしぎて言をとるのをうをやをあをうをあをあを林
もしかあるをいかにあるをいかにあるをかをいかにあるを
ちかくにありてもかちやりつをつてけりて牧丘寺をゆき牧よ
いりてのちあををうをぬ

元陵御記卷之上終

藏板